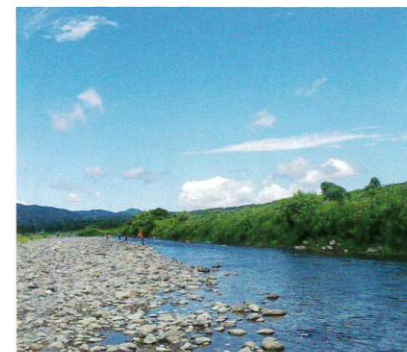


『街道をゆく』に 登場する滋賀県の主な地点

滋賀・近江の登場する『街道をゆく』の巻 一覧

- 1巻 『甲州街道、長州路ほか』 大津～安曇川～朽木谷
- 2巻 『韓のくに紀行』 蒲生 鬼室神社
- 4巻 『郡上・白川街道、堺・紀州街道ほか』 今津～敦賀～栃ノ木峠
- 7巻 『甲賀と伊賀のみち、砂鉄のみちほか』 伊賀上野～紫香楽宮址～瀬田
- 16巻 『叡山の諸道』 浜大津～坂本・生源寺、双巖寺、瑞応院、滋賀院門跡、日吉大社ほか、横川中堂～無動寺谷～大講堂
- 24巻 『近江散歩、奈良散歩』 不破の関～寝物語の里～柏原宿～彦根城～姉川古戦場～国友～安土城址～近江八幡

作成：司馬遼太郎没後20年記念シンポジウム実行委員会 発行時期：平成28年4月



①安曇川

安曇川は、流長57.9km、流域面積418.9km²におよぶ県下第二の大河です。
安曇川では「築漁」が今日まで受け継がれています。例年初夏がやな漁(鮎)の最盛期となります。

- アクセス JR安曇川駅
- 住所 滋賀県高島市安曇川町～朽木



③朽木陣屋跡

関ヶ原の戦い以後、徳川幕府の譜代大名格の待遇を受けた朽木氏が領内に設けた館跡で、現在は、堀・土居・石垣の一部と2カ所の井戸が残っています。
近年になり、茅葺の民家が移築されており、県指定史跡となっています。

- アクセス JR安曇川駅からバスで約25分
- 住所 滋賀県高島市朽木野尻478



②興聖寺

寛元元年(1243年)に宋から帰国した曹洞宗の開祖、道元禪師が、領主の朽木氏にこの地に一寺の創建を勧めたのが始まりといわれています。
境内には国の名勝に指定されている美しい庭園、秀隣寺庭園があります。

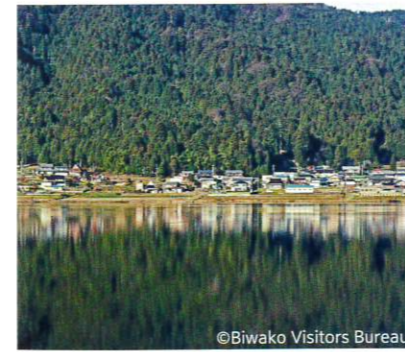
- 国指定名勝
- アクセス JR安曇川駅からバスで25分
- 住所 滋賀県高島市朽木岩瀬374



④海津

海津は古くから湖上交通の要衝として栄えた宿場町です。湖岸には、風波から家宅を守るために江戸時代に甲府藩領高島郡の代官西与一左衛門によって作られた、城壁を思わせる古い石積が延々約1.2kmにわたり残っており、往時の繁栄を偲ばせる雰囲気をかもしだしています。

- 重要文化的景観
- アクセス JRマキノ駅から徒歩で約20分
- 住所 滋賀県高島市マキノ町海津 ほか



⑤余呉湖

賤ヶ岳を一つ隔てた琵琶湖の北にある湖で、琵琶湖との水面落差が49m近くあります。
天女の羽衣や龍神・菊石姫の伝説が残る神秘的な湖で、別名「鏡湖」とも呼ばれます。

- アクセス JR余呉駅から徒歩5分
- 住所 滋賀県長浜市余呉町川並 ほか



⑥国友鉄砲の里資料館

国友鉄砲鍛冶は、戦国時代、織田信長をはじめ多くの戦国武将の注文を受けていたと言われます。
また、国友一貫斎(国友藤兵衛1778-1840)は、連発式空気銃や距離測定機を作り、自作の天体望遠鏡で太陽の黒点を連続観察したことで有名です。

- アクセス JR長浜駅からバスで15分
- 住所 滋賀県長浜市国友町534



⑦寝物語の里

昔、国境の小さな溝を隔てて建つ近江・美濃両国の旅籠の泊まり客同志が、寝ながら話しができたことから付いた呼称。
歌川広重の「木曾街道六十九宿」に描かれた今須宿の図は、この地を描いたものです。現在宿等はなく、石碑のみが建っています。

- アクセス JR柏原駅から徒歩約30分
- 住所 滋賀県米原市長久寺



⑧馬見岡綿向神社

もとは、綿向山(1110m)の頂上に鎮座していましたが、蒲生氏が城下町を開いてから現在地に移され、湖東の大宮として信仰を集めました。
壮大な境内には、拝殿や本殿をはじめ、江戸時代に日野商人が寄進したという立派な石灯笼や石橋があります。

- アクセス 近江鉄道日野駅からバスで10分
- 住所 滋賀県日野町村井705



⑨賤ヶ岳

山頂広場には、「賤ヶ岳の合戦」の戦跡碑や、戦没者の碑が立てられており、尾根続きの大岩山頂にも、秀吉側の武将中川清秀の墓があります。
さらに、北麓には広い範囲にわたって、両軍の戦死者の墓や遺跡が点在し、南麓の山梨子集落には、落人伝説が残されています。

- アクセス JR木ノ本駅からバスで5分
- 住所 滋賀県長浜市木之本町大音



⑩姉川古戦場

姉川は、伊吹山を源流とする川。
戦国時代、浅井長政と織田信長の子孫に生まれた確執から始まった浅井・朝倉軍と織田・徳川軍による姉川の合戦。
兵士の血で真っ赤に染まったという姉川野村橋のたもとには現在、戦死者の慰霊碑が立てられています。

- アクセス JR長浜駅から車で20分
- 住所 滋賀県長浜市野村町・三田町



⑪鬼室集斯の墓

鬼室集斯は、7世紀の百済国滅亡を機に日本へ亡命した渡来人で、天智朝の「学職頭」を務めた人物です。
その墓と伝える墳墓は、鬼室神社の本殿裏手にあり、石造の祠の中に、八角形の墓石を安置し、一面に「鬼室集斯之墓」と刻まれています。

- アクセス 近江鉄道桜川駅からバスで25分
- 住所 滋賀県日野町小野

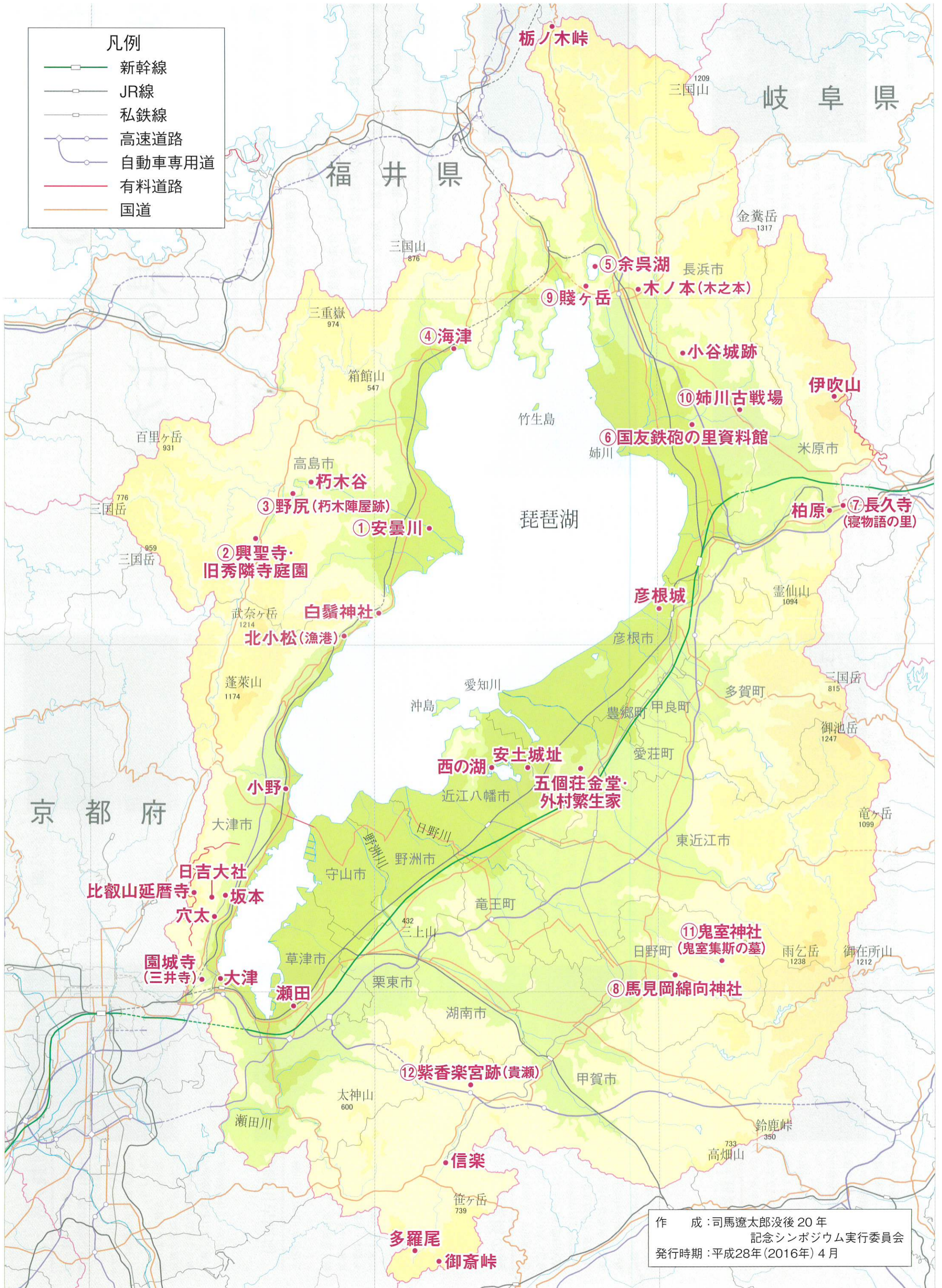


⑫史跡紫香楽宮跡

緑の松林に囲まれた緩い坂の参道をたどると、寺院跡があります。かつては、ここが宮跡と考えられていましたが、近年になって、宮町遺跡が紫香楽宮跡であることが明らかになりました。
この寺院跡は、聖武天皇が紫香楽宮で大仏造立をはじめた甲賀寺跡だと考えられています。

- 国指定史跡
- アクセス 信楽高原鉄道紫香楽宮跡駅から徒歩で約10～30分
- 住所 滋賀県甲賀市宮町 ほか

『街道をゆく』に登場する滋賀県の主な地点マップ



作成：司馬遼太郎没後20年
記念シンポジウム実行委員会
発行時期：平成28年(2016年)4月